**フェスタ実行委員会構成団体アンケート**

参考資料３

※回答数n=15（うち出展団体12・参加委員2・未参加団体1）

問１　貴団体コーナーの参加人数（スタンプを押した人数）を教えてください。

|  |
| --- |
| 計　851名 |

問２　貴団体がフェスタ参加者に伝えたかったことは、どのような内容ですか。

|  |
| --- |
| ○NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構  　色覚の多様性によって起こる問題とその解決方法。  〇神奈川県網膜色素変性症協会（JRPS神奈川）  　街中で困っている視覚障害者を見かけたら「何かお手伝いしましょうか」と声をかけてほしいこと。  〇社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会  　セルフヘルプ・グループというものがどのようなものかを知ってもらう。  〇公益社団法人神奈川県聴覚障害者協会  　・耳が聞こえない、聞こえにくいとはどういうことか。  ・耳が聞こえない、聞こえにくい人に伝えるためにはどうすればいいか。  ・直接、聴覚障害者(当事者)との交流・実際に手話を見てもらうこと  〇神奈川ライトハウス  　街で視覚障害者に声掛けができるように知識として持っていて欲しい  〇NPO法人神奈川県視覚障害者福祉協会  　免許を持っている施術者にかかって欲しい  〇神奈川県立三ツ境養護学校  　・パラスポーツの楽しさ  　・パラスポーツは誰でも気兼ねなく行える。  〇神奈川県民ホール  　逐50年のバリアフルな施設ですが、できる最大限の準備をしてお迎えしますという姿勢。  〇認定NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク  　高齢者や障がい者にとって、外出しづらい環境(要因)があること、それを解決するために、地域住民が「小さな交通」を運営・運行していること。県内各地で取り組みが広がっていること。  〇公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会  　・街なかにある段差を実感し、バリアフリーの重要性を体感してもらう。  ・住まいの中のバリアフリーに気づき、改修の必要性を知ってもらう。  〇NPO法人横浜市まちづくりセンター  　車椅子体験をとおして車椅子生活の人達が、日常生活でどのような苦労があるのか？困っていた時どうすれば良いのか？気になるポイントを考えてもらえると有難いです。  〇NPO法人Music of Mind  　障がい者でありながら音楽を通じて人に感動を与える事 |

問３　フェスタでは、参加者に伝えたいことを伝えることができましたか。次の中からあてはまるものを１つ選んでください。（○は１つ）　　　　　　　　　　　　　　　　　 （n=12）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １　伝えることができた 11 | ２　分からない 1 | ３　伝わらなかった 0 |

【問３で「２分からない」「３伝わらなかった」とお答えの方に】

問３－２　伝えることができなかった理由は何ですか。（○はいくつでも） (n=1)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １　内容が難しすぎた 0 | ２　内容が簡単すぎた 0 | | ３　来場者に興味がなかった 0 |
| ４　当日の対応時間が足りなかった 0 | | ５　フェスタの準備時間が足りなかった 0 | |
| ６　その他（フェスタ終盤に会場に残っている観覧者が少なかった　　　　　　）　1 | | | |

問４　各団体のコーナーで、良かった企画や工夫がありましたら、自由に記載してください。

|  |
| --- |
| * カラーバリアフリー、車いす体験、ガイドヘルプ体験。体験を伴うと、より印象に残りやすいです。 * どのコーナーも良かったと思います。県民ホールは体験を用意できないので、皆さんが羨ましいです。 * 車いすの体験（乗車、介護とも） * 体験型は、実際と近いイメージができるので効果があります。 * 手話やボッチャ、カラーUDなど、体験できるものがたくさんあってよかった。 * 皆さんそれぞれに、啓発のために会場全体の方たちと触れ合えていたことが良かったと思います。かにゃお、金太郎が気持ちを優しくしてくれた一要因かもしれません。 * 特になし（自分たちのコーナー（仕事）で手一杯で、各団体のコーナーを見て回ることができなかった） * 大変多くの方がコーナーに来てくれたので、自分のコーナーと全体運営スタッフとしての動きで精一杯でした。 * 神奈川ライトハウスが行っていた、実際にガイドヘルプしてみるという誘導体験は良かったと思う。 * スタッフが着用したピンクTシャツは周知や理解してもらう、きっかけ作りになっていたと思われる。いろいろな方から、「これは何のTシャツですか？！目的や主旨は？！」と聞かれてその都度、パンフレットを見せて説明をしていた。内容や目的を知ってもらう良い効果だと思いました。 |

問５　貴団体において、今回のフェスタで行った広報を記載してください。（○はいくつでも）(n=15)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １ | 団体内への広報用ちらし配布 | 10 |
| ２ | 広報用ちらしの一般配布（配布場所：当機構事務所、県内の市町村社協、セルフヘルプ・グループ、セミナー会場で配布、一般店舗にて来客に配布） | 6 |
| ３ | インターネットでの告知  （広報手段：ホームページ・Twitter・Facebook・その他（メーリングリスト）） | 10 |
| ４ | 広報媒体への掲載  （具体的な広報媒体：当会機関誌） | 1 |
| ５ | テレビやラジオなど、マスコミを使った告知  （具体的な広報媒体：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| ６ | その他（　団体理事会メールで、支部に配信　　　　　　　　　　　　　　） | 1 |
| ７ | 広報は実施していない |  |

問６　次回フェスタが開催されるとしたら、また参加したいと思いますか。あてはまるものを１つ選んでください。（○は１つ） (n=15)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １　参加したい 14 | ２　分からない 1 | ３　参加したくない 0　４　未回答　　0 |

【問６で「２分からない」「３参加したくない」とお答えの方に】

問６－２　参加したいと思えなかった理由は何ですか。（○はいくつでも） (n=1)

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １ | 準備する時間がない 0 | ２ | スタッフが確保できない 0 | ３ | 予算がない 0 |
| ４ | 団体の取組みと  フェスタの趣旨が違った 1 | ５ | 効果が少ない 0 |  |  |
| ６ | その他　0（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | | | |

問７　前回に引き続き、そごう横浜店９階で実施しましたが、開催場所について、御意見がありましたら、自由に記載してください。

|  |
| --- |
| * そごうB1Fから横浜駅への地下通路など、往来のある場所。 * 人がたくさん集まる場所での開催は、一般の方を呼び込めるので良いと思いました。ただ、９階なので、レストランに行く人ぐらいかなと思いました。 * 集客の工夫さえできれば、とても良い場所だと思います。 * 次回もそごう横浜店９階が良いです。 * できればそごう１階などで開催できると、もっと一般の人が足を止めてくれるかも。 * 横浜駅という場所で、とても分かりやすくていいと思います。 * 大人が多く、子どもたちが参加しにくい場所かもしれません。 * 通路が狭くて、ガイドヘルプ体験や誘導が大変そうだと感じた。また、スペースが狭く動きにくかった。聴覚障害と視覚障害のブースが隣り合わせで、何度か当たりそうになっていた。とにかくブースや通路が狭い。 * 建物(そごう)自体は駅から近くて外を歩くことなく行くことができるので大変便利だが、9階まで行く必要があるため、通りがかった人たちに来てもらうという面ではちょっとマイナスである。バリアフリー・介護フェアに初めから行くのが目的の方や関係団体の方が多く来場していたと思われる。本来の目的は、一般の県民に広く理解や周知したいので、同線の悪いそごう9階で開催よりも、以前開催した、アリオ橋本や新しい商業施設等のような、同線の良い(通りがかりの方が気軽に体験できる)商業施設の方がより多くの一般県民に来てもらえるのではないかと思う。 |

問８　前回に引き続き、「介護フェアinかながわ」と同時開催し集客増加を図りましたが、こうした他イベントとの同時開催についてどう思われるか、自由に記載してください。

|  |
| --- |
| * 今回の来場者は介護フェアからの流れが多かったと感じるので同時開催は肯定すべき。 * コーナーを訪れた参加者のなかにも、介護フェアが目的で来場していた方たちも多くいらっしゃったので、このような同時開催はとても良いと思いました。 * 集客が見込めてよいと思いました。 * 今年はホール内とロビーに完全に分かれたせいで、二つの催しの雰囲気の違いが明確になりました。広報面や予算面でメリットがあるなら今後も同時開催でいいと思いますが、のぼり旗のデザインやブースの構え方等どこかを揃えて一体感を演出しないと、来場者は違和感を覚えると思います。加えて、新都市ホール入口の受付、あの堅苦しい雰囲気はどうにかした方がいいと思います。通りがかりの人がふらっと入れる雰囲気にすれば、集客はそうとう伸びます。せっかく県内屈指の集客数を誇る商業施設で、しかも週末に開催しているのですから。 * 単なる同時開催ではなく、企画や広報などの準備から一緒に検討できれば良いと思います。（導線の関連付けなど） * 介護フェアとの同時開催が望ましい。 * 同時開催するのはとても良いと思います。しかし、毎回有名人の方を招いてのイベントが終わると会場の人が一気に減ってしまうので、集客が見込めるイベントを後半にまわすなどの工夫が欲しいと思います。 * 介護フェアのほうが、内容的には？？？というところもあって、こっちの方が良かった気もする。介護機器ももっと体験できるほうがいいし、シニア向けのかっこいい車など、もっと一般の方に見せたいものもたくさんあるはず。なんだか、バリアフリーフェスタともども、根本的な企画の見直しが必要かもしれない。 * 介護フェアの紹介ブースと、こちらは、体験型であり趣が違っていて、良かったと思います。他イベントにいらっしゃるお客様との交流できてよいと思います。 * 介護フェアの関係者、参加者もバリアフリーフェスタのコーナーも見に来てくださり、集客面で相乗効果があったと思う。 * なかなか良いと思う。今後も合同で実施してほしい。 * 介護フェアとの連携で、バリアフリーにも関心の高い来場者が多いと感じます。 * 介護フェアが目的の方も多く(特にトークショウ)相乗効果により思ったより多くの人が訪れたので効果はあったのではないかと思う。でも、他のイベントが目的だった人が寄ってくれたのかどうか？！そのあたりは検証も必要。 * また、他のイベントが介護フェアということもあり、年齢層も比較的高く、子供や若者が少なかったのは残念である。若者や子供またはコンセプトの違うイベントとの同時開催の方が、参加者の層が違い、有効的で相乗効果が大きいと思われる。また、介護フェアのトークショー・講演の間はお客様の動きがなく、ブースはさみしい状態だった、また終了30分前(16時30分前後)は体験者も少なく殆どお客がいない状態でした。その様な時間をどうするか考える必要があると思う。 |

問９　その他、御意見や御感想などありましたら、ご自由にお書きください。

|  |
| --- |
| * 一般の方だけでなく、県知事や議長などにもセルフヘルプ・グループというものを知ってもらう貴重な機会になりました。ありがとうございました。 * このフェスタは、県民会議の存在と目的、取り組み、これまでの成果を知ってもらうことで、バリアフリーのまち作りに関心を持つ人を一人でも増やすことが目的だと思っています。そうであれば、今後もしっかりと広報を続けていく必要があります。今年は若い来場者が目につきましたが、来年はもっと来てくれるようにしたいです。 * 広報のプロジェクトチームを構成して、広報を強化したことは良かったと思います。他の分野でも必要であれば、積極的にプロジェクトチームを構成して、より突っ込んだ企画ができると良いと思いました。 * 今回体験スペースが小さく、体験コーナーと感染症対策消毒スペースを確保するのが難しかった。もう少し広いと有難いです。 * いつもステージ出演の機会をいただきありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。 * バリアフリーという言葉の見直しも含めて、今後、もっと多くの方に参加してもらえる企画になると良いと思う。バリアフリーフェスタは、もっともっと当事者が前に出る方が良い。でも、出展されたみなさんのブースは、とっても良かったと思います！！！！ * 全体運営の誘導（集客）は、そごう玄関（地下2階）など、人の流れが多いところに多く配置し、より多くの一般客に声掛けすべきと思いました。（今回、会場前に配置されましたが、会場前は不要と思います。） * コロナ情勢もあり準備を慎重に進めたこともあったかもしれませんが、チラシ、ホームページ等の広告はもう少し早めに準備した方がよいかと思いました。 * 実施日を日曜日に行ってほしい * 設営や撤収の時間がわかりにくい状況であった * 最後のほうはコンサートに多くの人が行っていたので１６時終了でも良いのではないかと思った。 * 業者と手伝いの部分がわかりにくいので、事前にすみわけしておくと良いのではないか * 黒いスーツの人が入り口に多数いると入りづらいので配慮してほしい * 当日の東急改札口でのチラシ配布は、なかなか受け取ってもらえず厳しかったです。 * 会場の案内等の情報保障(手話通訳・要約筆記)は準備していたが、実行委員付きの手話通訳が居なく、事前説明から担当間の通訳等全て当団体のスタッフが通訳を兼任したので、できれば実行委員会同様に当日も手話通訳派遣(実行委員付)をしていただければ有難い。 |